

コリマ・ユカギールの民話テキスト (2)  
A.G. シャドリナによる民話 3 篇

長崎 郁

### 1 はじめに

本稿では、CES 第6号所収の「コリマ・ユカギールの民話テキスト(1)」につづいて、ロシア連邦マガダン州スレドニエ・カンスク地区コリムスコエ村在住のシャドリナ・アガーフィア・グリゴリエヴナ氏から採録したコリマ・ユカギールの3篇の民話テキストを紹介する。シャドリナ氏は、上記拙稿でも触れたように、1920年コルコドン村(コルコドン川流域)生まれのコリマ・ユカギール語話者であり、コリマ・ユカギール語のほかに、ロシア語、ヤクート語、エヴェン語も自由に話すことができるという。

3篇のうち、テキスト1(第2節)は、2002年10月22日、テキスト2(第3節)は、2003年8月21日、テキスト3(第4節)は、2003年8月27日に録音した。録音時間はいずれも2分~2分30秒程度と、非常に短い。テキストの書き起こしと分析は、シャドリナ氏によるロシア語での解説をもとに行った。なお、これら3篇の民話には、次のような共通点がある。まず、非常に短い。第2に、主要な登場人物は夫婦(おじいさんとおばあさん)である。第3に、ある出来事の結果、おじいさんではなく、おばあさんが何らかの被害をうける。最後に、すべて滑稽な話である。

以下、それぞれの話を1)コリマ・ユカギール語原文、2)筆者による分析試案、3)和訳の順に示す。原文の表記法は「コリマ・ユカギールの民話テキスト(1)」を参照していただきたい。分析試案で用いた記号・略号は以下の通りである。

	接辞境界	自分	目的分詞	指小	指小性
=	倚辞境界	未来	未来時制	焦	焦点
1	1人称	継続	継続相	対	対格
2	2人称	習慣	習慣相	具	具格
3	3人称	始動	始動相	所	所格
単	単数	結果	結果状態相	奪	奪格
複	複数	完	完了相	与	与格
自	自動詞	不確実	不確実法	共同	共同格
他	他動詞	否定	否定(前倚辞), 否定法	△	挿入母音
動名	動名詞	命令	命令法	↑	つなぎ子音
形動	形動詞	疑問	疑問法	間投	間投詞
副動	副動詞	所有	所有者	R	ロシア語

本稿は、ひとえにシャドリナ氏の御協力によって作成し得たものである。この場を借りて、彼女に深く感謝する。

## 2 テキスト 1

### 2.1 原文

irkin pulundie terikeda:n'e modo:ŋi. irkin xorobonn'ej. neskol'ko slov. pulundie moni, "terike, mit xorobo lekke." titte xorobobolo kudedera:. t'i:tte t'umu padum albuje tar xorobobolo, nojpegi t'umu t'oŋunulle t'i:tte t'umu. isto:lge egetem. t'i:tte t'umu titat i:t'efsum, poldolle, lunbugeget poldolle. tat:t tuda: mit lengdienund'i:li t'osojele. t'u:l tuda: todige mintej, titat t'ownunnuj. tat:t mintej, titat t'ownunnuj. elt'osojet'uon nichego ellektejek. nu poldona:. ti:ne pulundie l'et lengdiej. pado:d'o:ngale legiem. tiŋ terikiedie t'osojele aŋt'i:m, aŋt'i:m, öjl'e. ti: aŋt'i:m, ta: aŋt'i:m, öjl'e. t'osoje öjl'e. terikiedie t'osojet'i:e. pulundie tarjelma tude t'u:le t'i:tte t'umu legum. t'i:tte t'umu legum. öjl'e, amunde amun pon'o:l. ti:ne t'osoje, terike t'osoje aŋt'i:delma t'umu legum t'u:le. tat egiej. vidit t'u:ge t'u:l el'ed'o:j. egiej. tude terike t'osojegele puddege modol'el. "terike juok", moni, "tet t'osoje budie modol'eld'e." t'u:le lewdele t'umu. vot kak nechestno da?

### 2.2 分析

- (1) irki-n pulun-die terike-da:-n'e modo:-ŋi.  
1-↑ 老人-指小 老婆-3 所有-共同 暮らす-自 3 複  
一人のおじいさんがおばあさんと暮らしていた。
- (2) irki-n xorobo-nn'e-j.\*<sup>1</sup>  
1-↑ 牛-～を持つ-自 3 单  
おじいさんには一頭の牛がいた。
- (3) neskol'ko slov.\*<sup>2</sup>  
いくつかの (R) 言葉 (R)  
短い話だよ。
- (4) pulun-die mon-i, "terike, mit xorobo lek-ke."  
老人-指小 言う-自 3 单 老婆 1 複 牛 食べる-命令 1 複  
おじいさんは言った「ばあさんや、私たちの牛を食べよう。」

\*<sup>1</sup> xorobo-nn'e-j の -nn'e は名詞語幹から「～を持つ」の意の自動詞語幹を派生する接尾辞と考えられるが、これは Krejnović (1982:50), Maslova (2003:122) で挙げられている接尾辞 -n'e ~-n' とは形が異なる。

\*<sup>2</sup> (3) は聞き手である筆者に向かって述べたもの。

- (5) titte xorobo-solo kudedede-ŋa:  
 3 複 牛-対 殺す-他 3 複  
 彼らは牛を殺した。
- (6) t'i:tte t'umu<sup>\*3</sup> pad-u-m albuŋ-ge<sup>\*4</sup> taŋ xorobo-solo, noj-pe-gi t'umu  
 すべて 煮る-△-他 3 単 大鍋-所 その 牛-対 足-複-3 所有 すべて  
 t'os-u-nu-lle t'itte t'umu.  
 切る-△-継続-副動 すべて  
 おじいさんは牛をすべて大鍋で煮た、足をすべて切って。
- (7) istol-ge egete-m.  
 テーブル-所 立てる-他 3 単  
 テーブルの上に置いた。
- (8) t'i:tte t'umu titax it'e-f-u-m, poldo-lle, lunbuge-get<sup>\*5</sup>  
 すべて このように 尖端-～を与える-△-他 3 単 取り出す-副動 鍋-奪  
 poldo-lle.  
 取り出す-副動  
 すべてこんな風に削った（削りながら食べた）、鍋から取り出して。
- (9) ta:t tuda: mit leŋdie-nun-d'i:li t'okoje-le.<sup>\*6</sup>  
 このようにかつて 1 複 食べる-習慣-自 1 複 ナイフ-具  
 こんな風に昔私たちはナイフで食べたものだ。
- (10) t'u:l tuda: todi:-ge min-te-j, titax<sup>\*7</sup> t'ow-nunnu-j.  
 肉 かつて 齒-所 取る-未来-他 1 複 このように切る-習慣-他 1 複  
 私たちは肉を、昔、歯の間に手で持って挟んで、こんな風に切ったものだ。
- (11) ta:t min-te-j, titax t'ow-nunnu-j.  
 このように取る-未来. 他 1 複 このように切る-習慣-他 1 複  
 こうやって挟んで、こんな風に切ったものだ。

---

<sup>\*3</sup> t'i:tte t'umu のように、 t'umu 「すべて」の前に t'i:tte を置くことによって意味が強められる。

Maslova (2003:208) に、 čiste+čumu の čiste はロシア語の口語 chisto 「全く、 完全に」からの借用という記述がある。

<sup>\*4</sup> albuŋ はシャドリナ氏によると「銅製の大きな鍋」。

<sup>\*5</sup> albuŋ (注 4 参照) に対して、 lunbuge は鍋の総称であると考えられる。

<sup>\*6</sup> (9)～(12) では、筆者にかつての肉の食べ方を説明している。

<sup>\*7</sup> titax と言ひながら口の前でナイフを動かすジェスチャーをしている。

- (12) el=t'oroje=t'uon nichego el=lek-te-jek.  
否定=ナイフ=なしで 何も (R) 否定=食べる-未来-否定.2 単  
ナイフがなかったら何も食べられないだろうよ。
- (13) nu poldo-ŋa:  
そういうわけで (R) 取り出す-他 3 複  
そういうわけで、彼らは (肉を) 取り出した。
- (14) t:ne pulun-die l'e-t\*<sup>8</sup> leŋd-ie-j.  
さっき 老人-指小 いる-副動 食べる-始動-自 3 単  
さっきおじいさんは、食べはじめたんだ。
- (15) pad-o:-d'o:n-gele leg-ie-m.  
煮る-結果-もの-対 食べる-始動-他 3 単  
煮えたものを食べはじめた。
- (16) tŋ terikie-die t'oroje-le aŋt'i:-m aŋt'i:-m,\*<sup>9</sup> öjl'e.  
この 老婆-指小 ナイフ-具 探す-他 3 単 探す-他 3 単 ない (否定.3 単)  
おばあさんはナイフを探しまわったが、なかった。
- (17) ti: aŋt'i:-m, ta: aŋt'i:-m, öjl'e.  
ここで 探す-他 3 単 あそこで 探す-他 3 単 ない (否定.3 単)  
こっちを探して、あっちを探したが、(ナイフは) なかった。
- (18) t'oroje öjl'e.  
ナイフ ない (否定.3 単)  
ナイフはなかった。
- (19) terikie-die t'oroje-gi öjl'e.  
老婆-指小 ナイフ-3 所有 ない (否定.3 単)  
おばあさんのナイフはなかった。
- (20) pulun-die taŋ-delma tude t'u:l-e t'i:tte t'umu leg-u-m.  
老人-指小 その-～の間に 3 単 肉-具 すべて 食べる-△-他 3 単  
おじいさんはその間に、肉をすべて食べてしまった。

---

\*<sup>8</sup> l'e- はもともとは「ある、いる」の意味の自動詞語幹だが、適当な言葉が思い浮かばないとき  
にとりあえず用いられることがある。

\*<sup>9</sup> aŋt'i:-m aŋt'i:m と同じ動詞を 2 回繰り返すことによって、動作が繰り返し行われることを表  
している。

- (21) t'irte t'umu leg-u-m.  
 すべて 食べる-△-他 3 单  
 すべて食べてしまった。
- (22) öjl'e, amun=de amun\*<sup>10</sup> pon'o:-l.  
 ない 骨=強調 骨 残る-動名  
 (肉は) なくて、骨だけが残った。
- (23) ti:ne t'oroje, terike t'oroje aŋt'i:-delma t'umu leg-u-m t'u:l-e.  
 さっき ナイフ 老婆 ナイフ 探す-～の間にすべて食べる-△-他 3 单 肉-具  
 さっきおばあさんがナイフを探している間に、(おじいさんは) 肉をすべて食べてしまった。
- (24) ta:t egie-j.  
 そして立つ-自 3 单  
 そして彼は立ち上がった。
- (25) vidit t'u:-ge t'u:l\*<sup>11</sup> el'ed'o:-j.  
 見る (R) 肉-所 肉 なくなる-自 3 单  
 彼は見ている、肉がなくなったのを。
- (26) egie-j.  
 立つ-自 3 单  
 彼は立ち上がった。
- (27) tude terike t'oroje-gele pud-de-ge modo-l'el.  
 3 单 老婆 ナイフ-対 上-3 所有-所 座る-不確実(自 3 单)  
 彼は妻のナイフの上に座っていた。
- (28) "terike juo-k", mon-i.  
 老婆 見る-命令.2 单 言う-自 3 单  
 「ばあさんや、見ろ」と彼は言った。
- (29) "tet t'oroje budie modo-l'el-d'e."  
 2 单 ナイフ 上に 座る-不確実-自 1 单  
 「私はお前のナイフの上に座っていたようだ」

---

\*<sup>10</sup> amun=de amun の後倚辞 =de は前の語を強調するために用いられる(「骨だけ」の意)。また、同じ名詞の繰り返しも、意味を強調するためになされると考えられる。

\*<sup>11</sup> t'u:-ge と言ってから t'u:l と言い直している。

(30) t'u:l-e lew-dele t'umu.

肉-具 食べる-副動 すべて

肉をすべて食べて。

(31) vot kak nechestno da?

ほら (R) なんて (R) 不誠実な (R) そうでしょう?(R)

なんてするいんだろうね。

### 2.3 和訳

一人のおじいさんがおばあさんと暮らしていた。彼には一頭の牛がいた。- 短い話だよ -。おじいさんは言った「ばあさんや、私たちの牛を食べよう。」彼らは牛を殺した。おじいさんは牛の足を切って、すべて鍋で煮た。そしてテーブルの上に鍋を置いた。すべて、鍋から取り出して削りながら食べた。- 昔、私たちはナイフでこんな風に食べたんだが、肉を手で持って歯の間に挟んで、こんな風に（口の前でナイフを動かして）切ったものだ。ナイフがなかつたら何も食べられないだろうよ -。そういうわけで、肉を取り出した。おじいさんは肉を食べはじめた。おばあさんはナイフを探しまわったが、なかった。こっちを探してあっちを探したが、やっぱりなかった。おじいさんは、おばあさんがナイフを探している間に、肉をすべて食べてしまった。骨だけが残った。そしておじいさんは立ち上がった。おじいさんはおばあさんのナイフの上に座っていた。彼は言った「ばあさんや、見ろ、私はお前のナイフの上に座っていたようだ。」肉を全部食べてしまって。なんてするいんだろうね。

### 3 テキスト 2

#### 3.1 原文

starik so starukhoj vdvoem zhivut. a potom poeli. ej odultite. lejnelle moni, "terike, id'i: kin kintek kin kiejen ann'a:l, tawun pasu:dele ajletum, fowolo ajletum." d'e alann'enjt. alann'enjt, irkin pod'erxoso alann'enjt. ann'enjitej, kintek ann'a:l tawun fowolo tudel ajletum. d'e, d'e kakoj-to lemen punnumeget kelji. t'omo:d'elpegidu:, sta:shejpegidu?: "tuon xodel'emet?", moni. "jowl'ajemet?" alann'enjt, molchat. "lemdik titke, xode kudel'el? jowl'a:jemetdu:, xodit alann'emet?" juodejt, ne umerli? tajnigi nado lot'il piedi:din, tittel khranit' eto voditsja voditsja nado. tajnigi l'ek moni, "kin kin ejmesut?" ta: irkin paj moni, "tawun ... l'elukene lot'il piedi:t, tawun (?) ewrelukene kin xamiet e: kin ejmesut?" a tawun sta:shejgi moni, "von babushka omot'e masilgi l'ej" moni. "tamun mingeck, amdedejne, babushka amdedejne." babushka soskochhila. "aj met masil nilgin eltadi:teje," moni. i starik soskochhil. "vot ty budesh' myt' fowora:, fowro."

#### 3.2 分析

- (1) starik so starukhoj vdvoem zhivut.  
おじいさん (R) ~と (R) おばあさん (R) 二人で (R) 暮らしている (R)  
おじいさんがおばあさんと二人で暮らしている。
- (2) a potom poeli.  
そして (R) それから (R) 食事をした (R)  
そして彼らは食事をした。
- (3) ej odul=tite<sup>12</sup>.  
間投 ユカギール=～のように  
ああ、ユカギール語で。
- (3) lejde-lle mon-i, "terike, id'i: kin kin-tek kin kiejen ann'-a:l, tawun  
食べる-副動 言う-自3 単 老婆 今 誰 誰-焦 誰 先に しやべる-始動-動名 それ  
pasu:de-le ajle-t-u-m, fowlo-lo<sup>13</sup> ajle-t-u-m."  
食器-具 洗う-未来-△-他3 単 木皿-具 洗う-未来-△-他3 単  
食事をしてから、(おじいさんが) 言った「ばあさんや、今から先にしゃべりだした方が食器  
を洗うことにしてよう、皿を洗うことにしてよう。」

\*<sup>12</sup> ロシア語で話しあ始めたため、このように言った。odul=tite は直訳すると「ユカギールのよ  
うに」だが、「～語で」というときにも用いられる。cf. odul=tite xode mon-nu-nji? (ユカギー  
ル=～のように どのように 言う-継続- 自3複) 「ユカギール語でどのように言うのか?」

\*<sup>13</sup> fowro はシャドリナ氏によると「木を手斧で削ってつくった皿」。

- (4) d'e al=ann'e-ŋi-t.  
間投 否定=しゃべる-否定.3 複-未来  
で、彼らはしゃべらずにいる。
- (5) al=ann'e-ŋi, irki-n pod'erxo-ro al=ann'e-ŋi.  
否定=しゃべる-否定.3 複 1-↑ 日-所 否定=しゃべる-否定.3 複  
しゃべらずにいた、一日しゃべらずにいた。
- (6) ann'e-ŋi-te-j, kin-tek ann'a:l tawun fowro-lo tudel ajle-t-u-m.  
しゃべる-複-未来-自 3 誰-焦 しゃべる-始動-動名 それ 木皿-具 3 単 洗う-未来-△-他 3 単  
しゃべったら、しゃべりだした方が皿を洗うんだ。
- (7) d'e, d'e kakoj-to leme-n punnume-get kel-ŋi.  
間投 間投 何かの (R) 何-↑ 隣家-奪 来る-自 3 複  
で、隣家かどこから (人々が) 来た。
- (8) t'omoid'el-pe-gi=du:, starshej-pe-gi=du?:  
首長-複-3 所有=～か リーダー-複-3 所有=～か  
彼らの首長か、リーダーかな？
- (10) "tuon xodel'e-met?"<sup>14</sup> mon-i.  
これ どうしたのか-疑問.2 複 言う-自 3 単  
「これはいったいどうしたんだい？」と（彼は）言った。
- (11) "jowl'a:jemet?"  
病む-始動-自 2 複  
「病気になったのかい？」
- (12) al=ann'e-ŋi, molchat.  
否定=しゃべる-自 3 複 だまっている (R)  
彼らはだまっていた。
- (13) "lem-dik tit-ke, xode kude-l'el?  
何-焦 2 複-所 どのようになる-不確実(疑問.3 単)  
「何が起こったんだい、どうしたんだい？」
- (14) jowl'a:jemet=du:, xodit al=ann'e-met?"  
病む-始動-自 2 複=～か なぜ 否定=しゃべる-疑問.2 複  
病気になったのかい、なぜしゃべらないんだい？」

---

\*<sup>14</sup> xodel'e-met の語幹 xodel'e- は、さらに疑問詞 xode 「どのように」と自動詞 l'e- 「ある、いる」に分解できるが、語間にポーズがなく、アクセントの位置も一つなので、一語と見なした。

- (15) juode-ji, ne umerli?  
 見る-自 3 複 否定 (R) 死んだ (R)  
 彼らは (おじいさんとおばあさんが) 死んでいないか見た。
- (16) tajnigi nado lot'il piedi:-din, tittel khranit' eto voditsja,  
 そのとき 必要だ (R) 火 燃やす-自分 3 複 保存する (R) これ (R) 世話する (R)  
 voditsja nado.  
 世話する (R) 必要だ (R)  
 その頃には、火を燃やしつづけなければならなかつた、その世話をしなければならなかつた。
- (17) tajnigi l'e-k<sup>\*15</sup> mon-i, "kin kin ejme-f-u-t?"  
 そのとき ある-焦 言う-自 3 単 誰 誰 対価-～を与える-△-未来 (疑問.3 単)  
 そのとき、言った「誰がお礼をしてくれるんだい?」
- (18) ta: irki-n paj mon-i, "tawun ... l'e-lukene<sup>\*16</sup> lot'il piedi:-t, tawun (?)  
 そこで 1-↑ 女 言う-自 3 単 それ いる-～すれば (1/2) 火 燃やす-副動 それ  
 ewre-lukene kin xamie-t<sup>\*17</sup> e: kin  
 歩く-～すれば (1/2) 誰 助ける-未来 (疑問.3 単) 間投 誰  
 ejme-f-u-t?"  
 対価-～を与える-△-未来 (疑問.3 単)  
 そこで、一人の女が言った「私が火を燃やしに来たら、誰が助けて、いや、誰がお礼をして  
 くれるんだい?」
- (19) a tawun starshej-gi mon-i, "von babushka  
 そして (R) それ 年長者 (R)-3 所有 言う-自 3 単 ほらあそこに (R) おばあさん (R)  
 omo-t'e maril-gi l'e-j" mon-i.  
 良い-形動 コート-3 所有 ある-自 3 単 言う-自 3 単  
 すると、リーダーが言った「ほらあそこにおばあさんの良いコートがある。」
- (20) "tamun min-gek,<sup>\*18</sup> amde-dejne, babushka amde-dejne."  
 それ 取る-命令.2 単 死ぬ-～すれば (3 単) おばあさん (R) 死ぬ-～すれば (3 単)  
 それを貰えばいい、死んだなら、おばあさんが死んだなら。」

\*15 適当な語が思い浮かばなかつたので、l'e-k ととりあえず言ったと考えられる (注 8 参照)。l'e- は本来、自動詞語幹だが、この例のように名詞語幹として用いられることもある。

\*16 ここでは適当な動詞語幹がすぐに出でこなかつたので、l'e- で代用していると考えられる。

\*17 kin xamie-t? 「誰が助けてくれるのか」と言ってからすぐに kin ejme-f-u-t? 「誰がお礼をしてくれるのか」と言い直している。

\*18 min-gek の -gek はもう一つの命令法 2 人称単数の接尾辞 -k と異なり、動作をあとで行うよう言うときに用いられる。

- (21) babushka soskochila.  
おばあさん (R) 飛び出す (R)  
おばあさんは飛び出してきた。
- (22) "a: met masil nilgi-n el=tadi:-te-je," mon-i.  
間投 1 単 コート 誰も-与 否定=与える-未来-否定.1 单 言う-自 3 单  
「私のコートは誰にもやらないよ。」と言った。
- (23) i starik soskochil.  
~も (R) おじいさん (R) 飛び出す (R)  
おじいさんも飛び出してきた。
- (24) "vot ty budesh' myt' fowzora;\*<sup>19</sup> fowzo."  
ほら (R) 2 单 (R) 未来 (R) 洗う (R) 木皿 木皿  
「ほら、お前が皿を洗うんだ。」

### 3.3 和訳

おじいさんとおばあさんが二人で暮らしていた。食事をしてからおじいさんが言った「ばあさんや、今から先にしゃべった方が食器を洗うことにしてよう。」そして二人は一日しゃべらずにいた。すると、隣家かどこかから首長かリーダーか、人々がやって来た。彼は「いったいどうしたんだ、病気になったのかい?」と言った。二人は黙っていた。「何だい、何が起ったんだい、病気になったのかい、どうして黙ってるんだい?」と言った。死んでいないか見た。その頃は(家の中で)火を燃やし続けておかなければならなかった、すると、一人の女が言った「私が火を燃やし続けに通って来たら、誰がお礼をしてくれるんだい?」するとリーダーが言った「ほらあそこにおばあさんの良いコートがある。おばあさんが死んだんだったらそれを貰えばいい。」おばあさんが飛び出してきた。「私のコートは誰にもやらないよ。」おじいさんも飛び出してきた。「ほら、お前が食器を洗うんだ。」

---

\*<sup>19</sup> fowzora: はさらに fowzo-ra: と分析できる。接尾辞 -ra: は道具を表す名詞にしばしば見られ、他にも、lofkara: 「スプーン」(< loshka 「スプーン (R)」), ugurt'era: 「キー」(ugurt'e 「ハコヤナギ」) のような例がある。

## 4 テキスト 3

### 4.1 原文

pulundie terikedaa:n'e modo:ŋji. tawun na:r l'eqi. pulundie lemele montoj, terike n'exajin ala:t ta:t. t'umu tude tude ... tude l'ele a:nnum, po-svoemu a:nnum. d'e ta:t l'elle ... e: terikegi ta:t lienu. pulundie ... terikegi o:ʒi:ge pemeriel'el. tanj pulundie mada:j. anabuska:ge mada:j. i t'ande ... ununge t'ande ant'iji:m tude terikegele. tanj soromopul mongji, "pulut xajide xajide kewejk adirjin tet ununge t'ande? tet terike o:ʒi:ge löwdit", ledude kewet." a tudel "lejdi:k", moni "tajnigi ta:t liennuj. met montoje, t'umu t'aaside a:nnum. ... t'umu t'aaside a:nnum. met mono:lgele n'exanin elmedi. met tudel tudel pemerelle o:ʒi:ge ieret", met t'ande ant'iji:" naoborot a:m. "takzhe starukha ta:t liennuj", moni. "metkele t'umu t'aaside a:nnum". vse.

### 4.2 分析

- (1) pulun-die terike-da:-n'e modo:ŋji.  
老人-指小 老婆-3 所有-共同 暮らす-自 3 複  
おじいさんがおばあさんと暮らしていた。
- (2) tawun na:r l'eqi.  
それ 常に いる-自 3 複  
いつも そうだったんだが、
- (3) pulun-die leme-le mon-to-j, terike n'e=xajin al=a:t ta:t.  
老人-指小 何-具 言う-未来-自 3 单 老婆 否定=いつ 否定=する-未来(否定.3 单) このように  
おじいさんが言ったことをおばあさんは決してやらなかった。
- (4) t'umu tude tude ... tude l'e-le<sup>\*20</sup> a:-nnu-m, po-svoemu a:-nnu-m.  
すべて 3 单 3 单 3 单 いる-具 する-習慣-他 3 单 自分のやりかたで (R) する-習慣-他 3 单  
彼女はすべて自分の思い通りにやっていた。
- (5) d'e ta:t l'e-lle ... e: terike-gi ta:t lie-nu-l.<sup>\*21</sup>  
間投 このように いる-副動 間投 老婆-3 所有 そのよう いる-継続-動名  
で、 そう して いて、 おばあさんが こんな 風 だつた んだ。

\*20 l'e- の用法については、注 8, 15, 16 を参照。

\*21 前の文で「何でも自分の思い通りにやっていた」のが誰なのか言わなかつたので、ここでそれをはつきりさせている。

- (6) pulun-die ... terike-gi o:ʒi:-ge pemerie-l'el.  
 老人-指小 老婆-3 所有 水-所 転がり落ちる-不確実(自 3 単)  
 おじいさんは..., おばあさんは川に転がり落ちた。
- (7) taj pulun-die mada:-j.  
 その老人-指小座る-自 3 単  
 そのおじいさんは乗った。
- (8) anabuska:-ge mada:-j.  
 丸木舟-所 座る-自 3 単  
 丸木舟に乗った。
- (9) i t'ande ... unuj-ge t'ande<sup>\*22</sup> aŋt'i-ji:-m tude terike-gele.  
 そして(R) 上へ 川-所 上へ 探す-～しに行く-他 3 単 3 単 老婆-対  
 そして、上流へ... 川を上流へ自分の妻を探しに行った。
- (10) taj ſoromo-pul mon-i, "pulut xajide xajide kewe-j-k adi-ŋin tet unuj-ge t'ande?  
 その人-複 言う-自 3 複 老人 どこへどこへ行く-完-疑問.2 単 それ-与 2 単 川-所  
 上へ  
 人々が言った「じいさん、どこへ行くんだいお前は?、川を上流へ?」
- (11) tet terike o:ʒi:-ge löwdi-t', ledude<sup>\*23</sup> kewe-t'."  
 2 単 老婆 水-所 落ちる-自 3 単 下流へ 行く(完)-自 3 単  
 お前のばあさんは川に落ちて、下流へ行ったんだぞ。」
- (12) a tudel "lejdi:-k", mon-i.  
 3 単 知っている-命令.2 単 言う-自 3 単  
 彼は「思い出せ」と言った。
- (13) "tajnigi ta:t lie-nnu-j.  
 そのとき このように いる-習慣-自 3 単  
 「そうは言っても、(彼女は) こんな風だったんだ。」
- (14) met mon-to-je, t'umu t'axide a:-nmu-m.  
 1 単 言う-未来-自 1 単 すべて 逆に する-習慣-他 3 単  
 私が言うと、何でも逆にやったんだ。

\*22 t'ande は「川の上流へ」という場合にも、「空間的に上へ」という場合にも用いられる。

\*23 ledude は「川の下流へ」という場合にのみ用いられ、「空間的に下へ」という場合には alude が用いられるようである。

- (15) ... t'umu t'aside<sup>\*24</sup> a:-nnu-m.  
 すべて逆に する-習慣-他 3 単  
 何でも逆にやったんだ。
- (16) met mon-o:l-gele n'e=xanin el=medi.  
 1 単 言う-結果-動名-対 否定=いつ 否定=聞く (否定.3 単)  
 私の言ったことを決して聞かなかつた。
- (17) met tudel tudel pemere-lle o:ʒi:-ge iere-t', met t'ande  
 1 単 3 単 3 単 転がり落ちる-副動 水-所 流れる (完)-自 3 単 1 単 上へ  
 aŋt'i-ji:."  
 探す-～しに行く (他 1 単)  
 彼女は転がり落ちて川を流れて行った、私は上流へ（彼女を）探しに行く。」
- (18) naoborot a:-m.  
 逆に (R) する-他 3 単  
 彼は逆にやつた。
- (19) "takzhe starukha tart lie-nnu-j", mon-i.  
 ～も (R) おばあさん (R) このようにいる-習慣-自 3 単 言う-自 3 単  
 「ばあさんもこんな風だったんだ」と彼は言った。
- (20) "met-kele t'umu t'aside a:-nnu-m".  
 1 単-対 すべて逆に する-習慣-他 3 単  
 「私と何でも逆にやつたんだ。」
- (21) vse.  
 おしまい (R)  
 おしまい。

#### 4.3 和訳

おじいさんがおばあさんと暮らしていた。おじいさんが言ったことをおばあさんは決してやらなかつた。彼女は何でも自分の思い通りにやつた。おばあさんは川へ転がり落ちた。おじいさんは丸木舟に乗つて、川の上流へ探しに行った。人々が言った「じいさん、どこへ行くんだい？お前のばあさんは川に落ちて下流へ流れて行ったんだよ。」するとおじいさんは言った「そうは言つても、ばあさんは私が言うと、何でも逆にやつたんだ。私の言ったことを決して聞かなかつた。彼女は川へ落

---

\*24 t'aside は「逆に、後ろ向きに」という意味をもつ他の用例として、tudel t'aside xoni 「彼は後ずさりした（後ろ向きに行った）」が得られている。

ちて流れで行った、私は上流へ探しに行く。」彼は逆のことをやった。「ばあさんもこうなんだ」と彼は言った。「私の言ったことを何でも逆にやるんだ」と言った。おしまい。

## 参考文献

- 長崎郁 2003 「コリマ・ユカギールの民話テキスト（1） A.G. シャドリナの「デベゲイ」」『ユーラシア言語文化論集』第6号, pp.95-106. 千葉大学ユーラシア言語文化論講座
- Jochelson, Waldemar. 1905 Essay on the Grammer of the Yukaghir Language. *American Anthropologist* new series 7(2), pp.369-424.
- Krejnović, E.A. 1982 *Issledovanija i materialy po jukagirskomu jazyku*. Leningrad: Nauka.
- Maslova, Elena 2003 *A Grammar of Kolyma Yukaghir*. Berlin-New York: Mouton de Gruyter.

(ながさきいく・フェリス女学院大学非常勤講師)